

**VPP実証**  
 (経済産業省 資源エネルギー庁補助事業)

# 様々なリソースを活用して 需給調整力を供出するデマンドレス ポンスを行います。

**背景・目的**

- 再生可能エネルギーの大量連系や需給逼迫に対応するため、系統安定化に必要な「系統電源で供給していた調整力」の一部を「お客さま設備の負荷制御」で代替することが求められています。
- 他のVPP実証で検討されているリソースに加え、新たなエネルギーリソースが求められています。
- 2021年4月に需給調整市場の開設が予定され、5段階の商品区分(応動時間等)に対応したADR(自動デマンドレスポンス)システムが求められています。

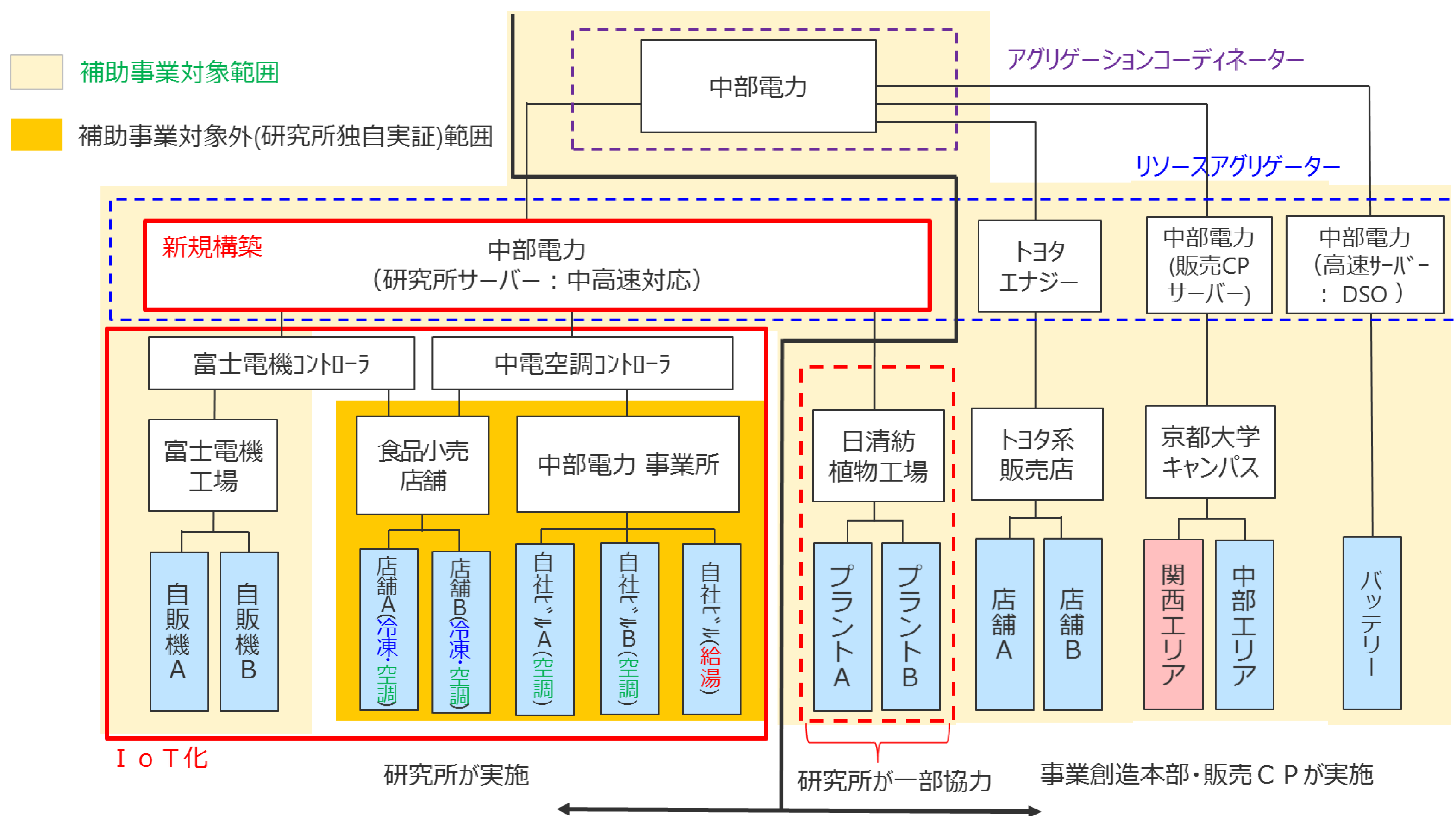
**特長**

- 新たなリソースの発掘とその需給調整力(調整量、反応時間、持続時間)を把握します。
- 生活に身近な食品小売店舗の冷凍冷蔵ショーケースや自動販売機の可能性を検証します。
- 需給調整市場で予定されている商品区分のうち三次調整力①②、二次調整力②について実証を行います。特に応動時間の比較的早い二次調整力②にチャレンジします。

**用途**

- 電力の需給バランス調整(安定供給)に活用
- 将来のアグリゲーションビジネスへの活用

**実証体制図**



**開発者の  
ひとこと**

今回の実証でその可能性を把握していきます。また、今回は応動時間5分や15分という比較的早い商品区分へのチャレンジングな実証試験です。手探りなところが多いですが、電力安定供給に資する技術、および将来ビジネスにつながる技術を確認していきます。